

八中3年人権だより

徳島市 八万中学校
3年生 第15号
2024年10月21日
編集・文 吉成正士

(14号からのつづき)

心から人生を楽しんで

■私は今回の人権学習、とても楽しく感じました。様々な人の意見を聞いて、感心したり、疑問をもったり、いろいろなことを考える時間になりました。

私が2番の質問のときに言った「悩みは認めるのが一番の解決策」、自分の口から出たのに、自分で感心してしまいました。今までしんどいことがあったときにも、「どんな考えを持っていても、それも自分の一部。なるようになる。」というふうを考えていて、それを端的に表した言葉になったなと思ったからです。自分の心のままに話していたら、思いがけない自分の一面の発見につながったな、というふうに感じました。これからもそういう発見を大切にして、人生を築いていきたいと思いました。

「置かれた場所で咲きなさい」という言葉があります。これは植物に人を例えた言葉ですが、人間は足がついているので、場所を選ぶこともできます。合わない場所から移動することもできます。でも結局、少々苦しくても、自分の選んだ場所で目標に向けて頑張ることが大事だと思います。今たくさん悩んでいますが、来年高校生になった自分が、心から人生を楽しんでいることを願います。最後の全体学習も、締めにくさなく頑張りたいと思います。

6組KN

私が置かれた場所がどこなのか、いまだ私には分かりません。動けないなら、そこがそうなのでしょう。ハンセン病療養所に収容された人も、被差別部落に生まれた人も、在日コリアンとして生まれた人もそうかもしれません。では、私はどこで咲けばいいのかと、考えます。

私たちがUSJに遠足に行った日、家に帰ると、ノーベル平和賞が日本被団協(日本原水爆被害者団体協議会)に授与されたことを知りました。驚きました。本当に驚いて、飛び上がるくらい嬉しくて、何度も何度もニュース番組を見ました。これは凄いことです。本当に凄いことです。

ヒロシマとナガサキに原爆が落とされ、被爆した人たちを中心に、世界中の核兵器の廃絶を68年にもわたって訴え続けてきた人たちです。それは、自分がヒバクシャであるということを宣言することであり、被差別の対象になるということを公にするということです。私も多くの被団協の方から話をうかがいました。聞けば聞くほどに、原爆の酷さ、怖さ、惨さを感じます。私たちがしてきた平和学習が学校の中だけでの学習なら、今回の受賞もあまり気にならないのかもしれませんが、でも、そんなために平和学習をしてきたわけではありません。学校での学びを自分事とし、自ら学びを広げていけるようにとしてきた平和学習でなかったでしょうか。私たちがめざしてきた平和学習とは、そういう学習でなかったでしょうか。

ヒバクシャはヒロシマやナガサキだけにいるのではあ

りません。日本全国にいますし、世界中にいます。その方たちが、自分で咲く場所を選べることなく、見舞われた苦難を這いずるような思いで生きてきた道のりに思いを馳せ、私たちがこれからの未来を引き継いでいかねばと、強く思います。



知ってどう行動するのか

■今回の全体人権学習でも、たくさんのことを学ぶことができました。人権は中学校を卒業した後も人生に関わってくるもので、だから今日学んだことも含め、これまでのことを大切にしていこうと思いました。

「まずリスペクトする」というのが印象に残りました。相手がどんなことを思っているか否定するのではなく、まずリスペクトして、それから自分の思いも伝えようと思います。自分の考え方、感じ方が変わると思いました。そして、柳本さんの言っていた「人と関わることが好きになれる」というのも印象に残っています。今までの自分をふりかえってみると、たくさんの人たちと関わって行って、どんどん皆のことを知っていったなど、とても共感できたと感じました。

これから学んでいくときに、「知ってどう行動するのか」ということを忘れずに、少ない人権学習に取り組み学んでいこうと思いました。

2組KY

そうです。人権は、中学校を卒業しても、生きている限りずっと皆さんに関わってきます。でも、学ぶ機会はほぼなくなります。ではこのままでいいのかというと、そうではありません。時代が進むのと同じように、人権意識も進んでいきますから、常にアップデートしていく必要があります。とはいえ、学ぶ機会はなくなるわけですから、自分から進んで学ぶ以外に道はありません。その方法は様々でしょう。新聞やニュース、本などもありますが、私は、「いろんな人と対話する」ことをおすすめします。そこには出会いがあり、その人の思いがあり、その人の思いが熱となって伝わってくるのが、すごく大事なことに思えるからです。そしてその学びが皆さんの行動につながっていけばいいのですが、それこそ人それぞれです。ただ、あなたがその学びの場に「いる」ことが、まずすごく大事なことです。「いない」と「いる」のとでは、大違いです。いればあなたの学びに

なりますし、あなたがそこにいるだけで、周りの人の力(エネルギー)になるのです。

自分にとって大切なものはすべて

■僕は今回の学習で、自分にとって大切なものはすべて人権が関係しているように感じる事ができました。勝子さんの大切な人である愛子さんは、差別意識で勝子さんを傷つけました。この話を聞いて、とても複雑な気持ちにもなりましたが、人権について学んでいかなければならないと痛感しました。自分も友達から1回馬鹿にされたことがあり、とても許せない気持ちになりました。それは人でなくても一緒だと思います。だから誰もが大切なもの、こと、人を傷つけられないように、培ってきた人権感覚を人に伝えていくことが必要だと思いました。今日の人権学習を、今までの3年間の集大成を、最後の人権学習にぶつけていきたいと思っています。 2組KA

傷つけようとして傷つけることもあるでしょうが、傷つけるつもりなんてなかったのに傷つけていることもあります。「無知が差別を生む」です。知らなかったがゆえに、気づかないうちに誰かを、何かを傷つけてしまうことがあるのです。知らないのだから仕方ないのですが、それでも傷つけた以上は、申し訳なく思わざるを得ません。と同時に、学ぶのです。その人から、その出来事から、新たな学びを得るのです。そうしながら、失敗しながら人は成長していくのだと思います。そして、学びが尽きることはありません。ということは、一生どこかで誰かを傷つけているとっておく必要があるということ。そして、だからこそ謙虚に生きるのだということ。学び続ける姿勢を貫いていくことだと思っています。



人権学習は自分を語り、人と対話すること

■今回の学年全体人権学習を行って、新しく学んだことがたくさんありました。川上さんの「自分の決定を応援できる自分」という言葉がすごく心に残っています。確かに自分の決めたことを自分で応援しないと、できることもできなくなると思ったからです。だから、これからの自分の将来のことや進路を、自分できっちり納得するように決めていきたいと思っています。

柳本さんの「人と交流するのが楽しくなった」という言葉にすごく共感しました。多分ほとんどの人は、人権学習を堅苦しくて難しいものと思っているけど、人権学習の根幹ともいえるのは、自分を語り、人と対話することだと私は思

っているのも、もし人権学習を難しいと思ってる人や知らない人に教えて、身近にも人権問題がたくさん隠れているということを知ってあげたいし、その人と一緒に私も学びたいです。

中学生の間、人権学習をしていなかったら、今の自分はないと思うし、今のような考え方をすることもなかったんだろうなと考えると、この3年間人権学習をできてよかったと、心から思っています。 6組KM

自分の本当の思いを自分の言葉で表現できているようで、読んでいてすごく嬉しい気持ちになります。しかも書かれている内容は、これまで私が伝え続けてきたこととちゃんと合致しています。自分を語り、対話すること。まさしくその通りです。小難しい差別問題や人権課題を学ぶこともありますが、決してそれだけではなく、それらを通して自分を語ることです。語り合うことです。対話することです。身につけるべきは、その習慣性であり、文化です。そんな文化が、もっともっと世の中に広がってほしいと思います。



これから出会う人に、中学時代の人権学習を伝えるとするならば、僕は人の見方が変わる人権学習をしたと伝えます。具体的に言うと、人権で求められるのは、共感や受けとめる力。一番大切なのは認め合う力だと思います。十人十色とあるように、お互いの違うところをリスペクトしたり、認めたりすることがいると思います。最初からお互いを認め合う力を持っている人はいません。だから人権学習をして、この力をつける方法を今も勉強していると感じています。人権学習で深く考える、深く知ることによって、認め合う力を得ることができるようになります。だからこの場で発表して意見を聞いて、そういう考え方なんだとか、そういう見方もあったのか、などの気づいてないところを気づくきっかけとなるので、この場において僕は楽しいです。中学校の人権で終わらせないようにしたいです。 4組OK

この発言のあと、私は「もしこの人権学習がなかったら、自分はどうなっていたか」と、問い返しました。言葉に詰まり、あとになって、考えた内容を教えてくれました。きっとあのとき、他の人も考えたと思います。

「もしこの時間がなかったとしたら…」

あってもなくても、何も変わらないのかもしれませんが。それでもどこかに、何かに響くことを信じたいと思います。そんな信じる心を教えてくれたのも、この人権学習でした。私にとってはかけがえのない時間です。

(16号につづく)